

令和3年5月25日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

## 名古屋市立大学と豊川市民病院が臨床研究の実施に関する連携協定を締結します

名古屋市立大学と豊川市民病院は、双方において研究活動の更なる活性化を目指すため、「特定臨床研究の実施に関する相互の協力・支援」に関する協定を締結することとし、締結式を開催します。

記

### 【締結の目的】

本協定によって、名古屋市立大学病院、医学部附属東部・西部医療センター、蒲郡市民病院、三重北医療センターいなべ総合病院による名市大を中心とした臨床研究ネットワークに新たに豊川市民病院も加わる形で、より**大規模な研究推進グループ体制を構築し、グループ全体での臨床研究の活性化**を目指します。

また、臨床研究ネットワークにおいては、大学を中心とした支援体制を構築することで、**医療ビッグデータを活用した研究シーズの発掘や研究ノウハウの共有、人材育成等**を通して、グループ全体での**新たな医療の創出や地域医療への還元、世界へ向けた優れた研究成果の発信**を目指します。

### 【協定内容及び協定書締結式の概要】

#### 1 連携協定の内容

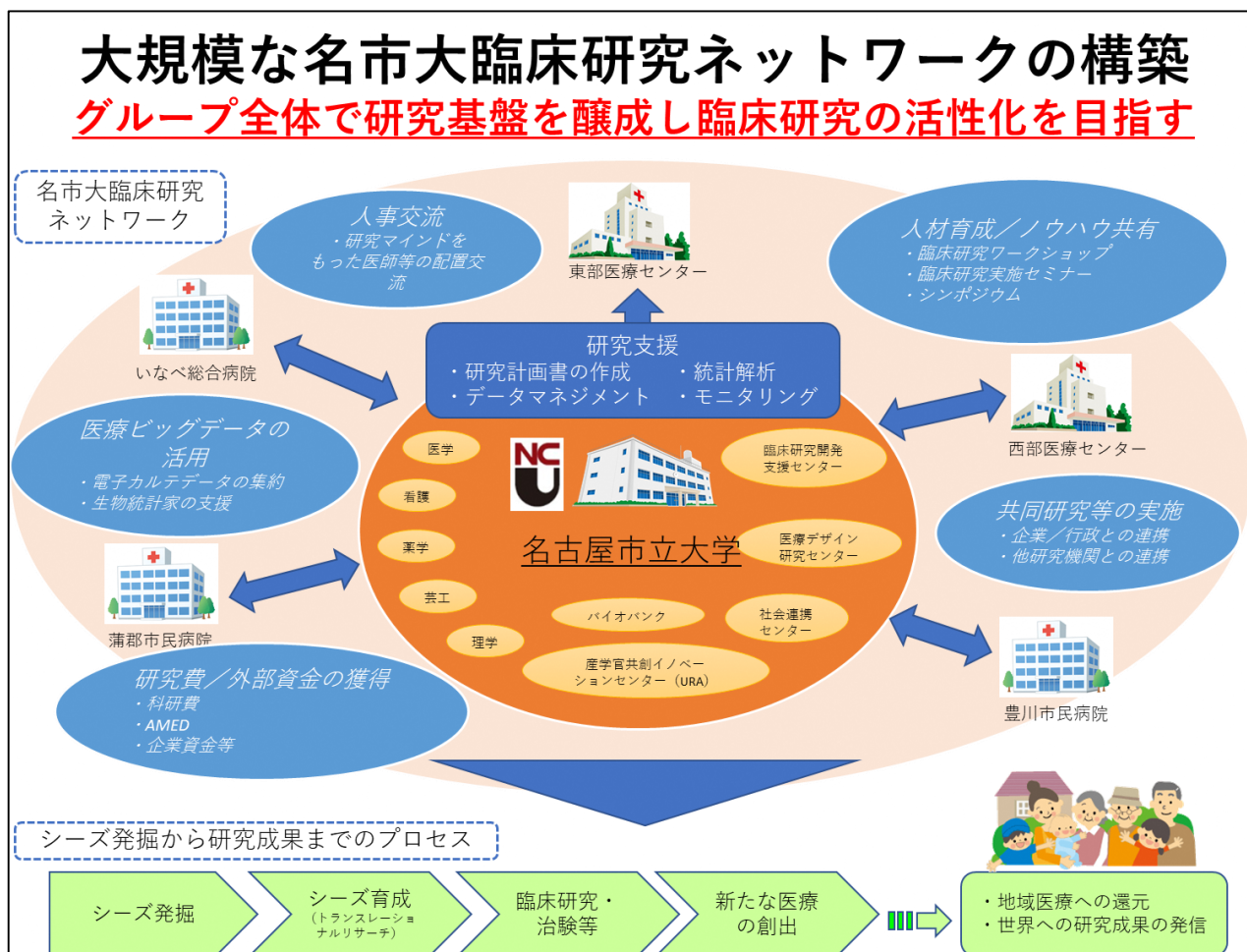
- (1) 臨床研究の立案・研究計画書の作成支援
- (2) 臨床研究のデータマネジメント
- (3) 臨床研究のモニタリング・監査
- (4) その他研究活動の活性化に必要な連携に関すること

#### 2 協定書締結式

- (1) 日時 令和3年5月27日（木）16時15分～（予定）
- (2) 場所 豊川市民病院 講堂  
名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟4階 第2会議室
- (3) 形式 オンラインで双方間を中継する Web 形式にて実施

(4) 出席者 豊川市病院事業管理者 三島 晃 始め豊川市民病院関係者  
名古屋市立大学理事長 郡 健二郎 始め大学関係者

【名市大を中心とする臨床研究ネットワークのイメージ】



【名古屋市立大学および関連病院との多施設共同研究の例】

令和2年7月21日プレスリリース

名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学分野

松川 則之 教授、打田 佑人 研究員らの研究チームによる研究成果の発表

「血液脳関門の機能障害を画像化することに成功」

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/media/20200721.pdf>

本研究は、名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学分野と豊川市民病院 神経内科をはじめとする多施設共同研究として行われ、研究成果は、米国科学誌

「Neurology (ニューロロジー)」に2020年6月25日掲載

【お問合せ先】

豊川市民病院庶務課 人事グループ 岩瀬、大拙

TEL:0533-86-1111 E-mail: byoinshomu@city.toyokawa.lg.jp

# 大規模な名市大臨床研究ネットワークの構築

## グループ全体で研究基盤を醸成し臨床研究の活性化を目指す

名市大臨床研究  
ネットワーク



いなべ総合病院

人事交流  
・研究マインドを  
もった医師等の配置交  
流



東部医療センター

人材育成／ノウハウ共有  
・臨床研究ワークショップ  
・臨床研究実施セミナー  
・シンポジウム

研究支援

- ・研究計画書の作成
- ・データマネジメント
- ・統計解析
- ・モニタリング



西部医療センター

医療ビッグデータの  
活用

- ・電子カルテデータの集約
- ・生物統計家の支援



名古屋市立大学

医学

看護

薬学

芸工

理学

臨床研究開発  
支援センター

医療デザイン  
研究センター

バイオバンク

社会連携  
センター

産学官共創イノベ  
ーションセンター (URA)

共同研究等の実施

- ・企業／行政との連携
- ・他研究機関との連携



蒲郡市民病院

研究費／外部資金の獲得

- ・科研費
- ・AMED
- ・企業資金等



豊川市民病院

シーズ発掘から研究成果までのプロセス

シーズ発掘

シーズ育成  
(トランスレーショ  
ナルリサーチ)

臨床研究・  
治験等

新たな医療  
の創出

- ・地域医療への還元
- ・世界への研究成果の発信

